

来春開設予定の明商福祉科

生徒募集の取り組みは

問 明石商業高校福祉科の開設に向け、生徒募集の取り組みを聞く。

答 同校では、卒業時に介護福祉士国家資格の取得を目指す福祉科を令和6年4月に開設する準備を進めている。しかし、県立の福祉系高校の3校全てが3年連続で定員を下回り、生徒募集活動は重要な課題と認識している。



明石商業高校福祉科(完成予想図)

例年は、入学実績のある中学校等の進路指導担当教員に学校説明

を行っているが、各中学校の進路説明会への参加依頼があれば、3年生向けに直接説明を行うほか、6月に中学校教員への授業見学・説明会、8月と10月はオープンハイスクールを開催予定だ。さらに、神戸、姫路、三木方面まで訪問地域を拡大するなど、説明の機会を増やし、福祉事業者等関係者からも意見を聞くなど、発信する情報の充実に努めたい。

幼稚園と保育所の

消防設備

年に1度は確認

問 幼稚園・保育所の消防設備等の基準や現状を問う。

答 消防用設備等の設置基準は、消防法施行令で定められており、建物の規模によって消火設備・警報設備・避難設備等が必要となる。例えば、2階建ての建

物で、2階の収容人員が20人以上の場合は避難器具が必要となる。幼稚園・保育所に設置されている滑り台も避難器具の一種で、いざ避難する場合も遊び慣れた遊具のため、園児にとつて有効とされている。



避難にも使える滑り台

ているか、適正に維持管理ができていないかを確認しており、不備が見つかった場合は、早急には正するよう指導している。

新型コロナ5類へ移行 医療提供体制は円滑に機能 関係機関と連携し丁寧に対応

問 新型コロナウィルス感染症の5類移行後の医療提供体制に問題はないか。また、今後、

答 流行が拡大した場合の医療提供体制を聞く。昨年11月末から病院間の転院調整を行い、今年4月からは病院と診療所が直接受診調整を行う病診連携を開始するなど、2類相当の時期から必要な医療に つながる対応をしてきた。その結果、5類移行後も受診や入院、転院などの医療提供体制は円滑に機能している。今後、流行拡大による発熱等の患者の急増に備え、市民の不安や受診先の相談、医療機関からの相談に対応できるように、引き続きコロナ相談ダイヤルを開設するなど、市民に必要な情報を発信するともに県や市医師会等と連携し、市民一人一人に寄り添った丁寧な対応を行っていく。

高齢者支援の充実 安心して暮らせる地域と 元気に活躍する場を確保

問 一人暮らし高齢者の見守り支援の現状と課題、就労等の機会の創出について聞く。

答 高齢者安否確認事業は、令和5年度から社会福祉協議会に委託し、75歳以上の一人暮らし高齢者約3800人を対象に月1回の家庭訪問を行っている。しかし、事業を担う見守りサポーターの確保ができていない。市が高齢者やその家族に電話するなどして、対象者全員の安否確認を行っている。

今後は、サポーターの雇用条件を柔軟にするなど、成果や課題を踏まえ、安定的な事業運営につなげたい。

高齢者のニーズに応じた就労機会の提供については、シルバー人材センターに対し、補助金や業務の優先発注等を行い、高齢者が地域や社会で元気に活躍する場を確保している。また、高齢者の健康増進、レクリエーションやボランティア活動を行う高年クラブに対し、活動支援を行っている。

こどもを核としたまちづくり 障害のある子どもへの対応など 公立保育施設の役割は重要

問 他の自治体では、公立保育所の民営化が進められていると聞く。障害のある子どもや医療的ケアを必要とする子どもの保育体制を整備するためにも、公立の役割は重要と考えるが、本市の公立保育施設の役割や今後の方向性について聞く。

答 本市の公立保育所は、国が策定した保育の基本となる考え方や保育内容等を定めた保育所保育指針に沿って、保育士が特定の園児を担当する育児担当制や視覚支援を取り入れた保育を実践してきた。このような保育を民間保育施設に周知するとともに食物アレルギー対応などのマニュアルの提供や保育の困りごとへの助言など、先進的な役割を担っている。公立保育所の存在は、市内保育施設の保育の質の向上のためにも重要であり、在り方について検討していく。

安全で良質な医療を継続

市民病院の建て替えも視野に入れ 現状やニーズ把握が必要

問 公立病院の在り方は、本市のみならず全国的な懸案事項である。今後の明石市立市民病院の在り方について問う。

答 市民病院は開設以来、市民のための病院として、医療需要や時代状況に応じて必要な医療の提供に努めてきた。特に新型コロナウイルス感染症の対応は、市内発生の当初から迅速に体制を整備し、地域の自治体病院としての役割を担ってきた。市民病院が地域で必要な医療を担い、安全で良質な医療の提供を続けていくためには、病



地域医療を担う市民病院

病児・病後児保育施設

保育所併設型の保育事業者を公募予定

問 病児・病後児保育事業拡充の状況を聞く。

答 市内の病児・病後児保育事業は、東部の明

石市立市民病院に定員5人、西部の西江井島病院に定員4人の計9人の定員で実施している。市民病院は、改修により今年度中に10人程度の受入枠を拡充予定であり、西江井島病院は、新築移転に伴い、受入枠の拡充を協議していく。なお、医療機関が運営する医療機関併設型病児・病後児保

育施設の新規開設のめどは立っていない。一方、保育施設が運営する保育所併設型病児・病後児保育施設は、市が実施主体となる委託方式で実施すれば、市医師会の協力を得られることとなり、医師

や医療機関の確保が可能となった。今後は、子育て世帯が増加している西明石または大久保北部地域に保育所併設型施設を開設できるよう、保育事業者の公募を行う予定である。

永年在職表彰など受賞

6月14日の全国市議会議長会定期総会において、辻本達也議員が議員在職20年以上特別表彰を受けました。これは長年にわたる市政発展への貢献が認められたものです。また、榎本和夫議員が議長在職中に、全国市議会議長会と地方の協議の場等に関する特別委員会委員を務めた功績により、同会会長から感謝状が贈られました。5月3日に榎本和夫議員、辰巳浩司議員が兵庫県自治功労者表彰を受けました。これは長年にわたり地方自治の振興と発展に尽くした功績によるものです。

請願

▽不採択となった請願△
○インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願